

# 市議会だより

発行 五條市議会 編集 議会広報編集委員会  
平成27年(2015年)5月1日

# GOJO

No.55



(吉野川のこいのぼり)

## 五條市議会第1回・第2回臨時会 及び3月定例会の概要

平成27年第1回臨時会は、1月29日に開会、会期を2月3日までの6日間と決定し、第2回臨時会は、2月19日に開会、会期を1日間と決定したのち、それぞれ市長から提出議案の説明を受けました。

本臨時会には、工事請負契約の締結、損害賠償の額を定めることなどの議案が市長から提案され、議会からは、(仮称)五條総合体育館建設事業の賛否を問う住民投票条例の制定、農業委員会委員の推薦などを提出して慎重審議を行いました。

平成27年第1回3月定例会は、3月2日に開会、会期を19日までの18日間と決定し、初日には市長から市政の報告と提出議案の説明を受けるとともに代表監査委員から平成26年度の定期監査結果報告があり、工事請負契約の締結議案を審議しました。

また、議会からは、委員会条例の一部改正議案などを提出して慎重な審議を行うとともに、5日には5人の議員が一般質問を行い、3月18日に閉会しました。

### 目次

一般質問	2～4ページ
意見書・決議ほか	4ページ
表決結果と議決結果	5～7ページ
組合議会の報告ほか	8ページ

# 一般質問

定例会では、議案に関係なく市の一般事務について質問することができます。これを一般質問といい、以下質問順にその概要をまとめています。

## 山口耕司 議員

### 地方創生の取組について

**山口** 「ひと」が主役となる「地方創生」がスタートし、政府は今後5年間の「総合戦略」を昨年12月に閣議決定を行い、二〇一五年度までに地域の「地方版総合戦略」の策定が努力義務として課されています。

1. 「まち・ひと・しごと」を創生する戦略を立てるための人材確保について

**市長公室長** 国が相談窓口を設け支援する「地方創生コンシェルジュ」の仕組みが構築され、奈良県担当として34名が選任されており、本市もこの方のアドバイスを受け推進に取り組んでまいりたい。

2. 周辺市町村との連携について

**産業環境部長** 「吉野大峯・高野観光圏協議会」「中南和観光協議会」等の観光組織に加盟しており、「ひろがる五條・あつまる五條・はじまる五條」を目指したい。また農林関係では「五條吉野農業推進協議会」に加盟し食肉処理加工施設「ジビエール五條」の運営が始めればこの協議会を活用したい。

3. 移住の推進と今後について

**市長公室長** 空き家の利活用などに歯止めは掛かっていない。今後地方創生先行型の交付金が示すU-IJターンの促進してまいりたい。

4. 結婚・子育て・教育の環境整備の現状と今後について

**あんしん福祉部長** 本市においては、保護者が気軽に相談・サポートを受けられるような支援体制の構築を目指してまいりたい。

**教育長** 現在、教育委員会は五條への人の流れを作るために多くの事業に取り組んでおり、「五條市『夢・志』教育プラン」の中間見直しを行い、児童・生徒に「社会を生き抜く力を養う」「家庭の教育を育む」「市民みんなで子供を育てる」「生涯学習社会を整える」の4点を核として取り組んでいる。

**山口** 現場が主役の「人が生きる、地方創生」について市長に見解を求める。

**市長** 人口減少対策が最重要課題である。今後、五條市版総合戦略の策定にあたっては、政府の政策を有効に活用し、本市の発展につなげてまいりたい。

## 養田全康 議員

### 人口減少問題を今後どうしていくかについて

**養田** 昨年5月、全国1,800市町村の内、896自治体に消滅のおそれがあると日本創生会議が発表し全国に衝撃が走った。本市でも合併当初38,600人程度の人口が昨年7月で33,300人まで減少しているが、現在の取組について尋ねる。

**市長公室長** 第五次五條市総合計画に基づき子育て支援や定住促進教育、企業誘致による雇用創生など各種施策を推進している。特に、定住促進に向けた取組が急務となっている。

**養田** さまざまな市町村が取組をされているが、五條市でも、住宅取得補助金など定住促進に向けた取組をどのような形で考えていくのか。

**市長公室長** 地方創生の定住促進に係る事業で年齢に関係なく婚姻3年以内の新婚世帯の方が市内で住宅購入する場合に50万円を上限とした額を支援する新婚世帯住宅獲得補助金交付事業を行っていく。

**養田** 移住体験では、島根県がU-IJターンの者に向けて鋭意取組をされている。県内全域の空屋情報を

提供したり、各地域にU-IJターンの住宅相談員を配置し、相談に応じたり、島根県での移住体験では短期体験から産業体験まで、さまざまなお申し込みで定住促進に取り組んでいるが、本市ではU-IJターンの者の取り込みをどのように行っていくのか。

**市長公室長** U-IJターンの者の転入促進のためにU-IJターンの住宅取得補助金交付事業などを行い、U-IJターンの者が市内に定住するための住宅購入や改修する費用を上限100万円補助しようと考えている。

また、ハウスメーカーや金融機関などと連携を図ることを検討する。

**養田** 他市よりも高額だったらいとかではなく、本市独自の取組が必要だと考える。例えばリフォームや改修費なども検討していただきたいとお願いする。





## 吉田 正 議員

### 〔仮称〕金剛山麓野鳥の森について

**吉田** 前回の一般質問の中で金剛山を背景にした北宇智地区の観光について質問した際、市当局からは大切な観光資源であると答弁をいただいた。その中の観光資源である金剛山麓野鳥の森について、平成19年にある議員からの質問の中で「自然をできるだけ残し、トイレ、案内所のある来客者がリフレッシュできる自然体験型の公園を計画している。事業年度は平成21年から23年である」との答弁であったが、現在、一部の整備のみで進捗していない理由を尋ねる。

**都市整備部長** 計画の見直しがあり遅れている。地目の規制があり案内所、トイレは設置できないが駐車場、案内板、ベンチ等を設置し早急に実施したい。

**吉田** 地目の関係上、案内所、トイレは設置できないとの答弁であるがトイレもないよう公園と言えないのか。

**都市整備部長** 仮設式トイレの設置を検討する。

**吉田** 市長に尋ねる。市長は金剛山麓野鳥の森の将来像をどう考えているのか。

市長 大切な観光資源と考える。地元地区とも協議しながら整備を進めたい。

**吉田** 大切な観光資源である金剛山麓野鳥の森を整備し金剛山登山客の拠点としていただきたい。

### 要望書の取扱いについて

**吉田** 各自治会等から生活環境整備、農業観光整備等の要望書が出ていると思うが、取扱いなどに対する経過説明等はどうかしているのか。

**理事** できる、できないはあると思うが、各担当には1か月をめどに返答するよう指導している。

**吉田** 実情、あまり返答はもらっていないように思うが、市民からの要望書は重いものである。要望内容を精査して進捗状況、着工時期をしっかりと説明していただきたい。市長に尋ねる、要望書についてはいかがが考えか。

**市長** 重きものであると理解している。要望先に説明して取り組みたい。

**吉田** 優先順もあると思うができる限り取り上げていただき、経過等を説明できる態勢を取っていただきたい。

## 牧野雅一 議員

### 大塔町の復興について

**牧野** 被災から3年半、復旧は目に見えて進捗しているが、復興は遠い道のりと案じ、現状を尋ねる。

**市長公室長** 国土交通省はじめ林野庁、奈良県及び五條市が一丸となって取り組んでいく。

**牧野** 現状を見据え未来を考え私たちのまちが被災したという事実を風化させることなく、皆が協力し、一つになって取り組むことが真の復興への近道であると考えている。

### 市民の医療環境について (県立五條病院)

**牧野** 休院中の地域医療の確保のため五條病院敷地内に仮設診療所の設置を県と協議することであったが、その後の経過を尋ねる。

**すこやか市民部長** 仮設診療所を設置し地域医療を確保できるように協議を断続的に行っている。

**牧野** 診療科目の中で産婦人科の分娩は当分休止とあるが、五條病院でできる態勢を整え、産婦人科専門医療機関の設置を計画し「お産は五條病院で」「五條に行けば安心してお産ができる」といった特色ある病院づくりを提言する。

### 水道事業会計の将来性について

**牧野** 水道事業の営業収益は右肩下がりに減少し財政運営が一段と厳しくなる状況下では、市民の料金改正による負担は近い将来避けられない現実であると思う。様々な要因の中で特にネックとなっている暫定水利権の分割譲渡合計13億円の費用負担である。その要因を考慮すると20から30%の料金値上げは避けられないのではないかと

**水道局長** 議員おっしゃるとおりである。

水道料金値上げを含む水道事業計画及び事業費は、平成27年度から検討委員会等を設置して決めていく。

**牧野** このままでは近い将来、水道事業会計は破綻するため、市民生活に直接打撃を与える水道料金値上げの値上げは心情的には回避していただきたいが、市の財政状況をみても水道料金の値上げは回避できない状況である。市民生活に直接打撃を与える水道料金の値上げを実施する前に、市民にしっかりと説明し理解を求めるときで市民生活の支障を少しでも軽減するよう段階的に取り組むべきと考える。

※その他にも土地借上料の算出基準、五條市まちづくり構想について質問をしました。

# 大谷龍雄 議員

南奈良総合医療センター及び五條病院等の開院に関する医師・看護師の確保について

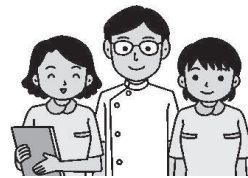
**大谷** 現在の町立大淀病院、国保吉野病院、県立五條病院の医師数は合計で44名と聞いている。

福神に建設中の南奈良総合医療センター（平成28年7月開院）の診療科数は22の予定であり、南奈良総合医療センターだけで約50名の常勤医師が必要と考えられ、国保吉野病院（平成28年7月開院）五條病院（平成29年6月開院）開院に必要な医師数を加えると大変医師不足である。南和広域医療組合へ要望を強めるべきではないか。

また、看護師は、五條病院が平成28年7月から平成29年5月まで改修工事で休院となるため、平成28年7月の南奈良総合医療センター開院時点では看護師が余るといふ理由で現在のパート看護師は雇用しないと聞いているが、1年後の五條病院開院時は看護師が必要となることから、パート看護師を引き続き雇用するよう要望するべきではないか。

**すこやか市民部長** 南奈良総合医療センター等の3公立病院の開院にあたっては、医師64名、常勤看護師290名、臨時看護師33名必要と聞いている。

五條市としても医師、看護師の確保に関し、南和広域医療組合と十分な協議をしていく。



## 議第24号 平成27年度

### 五條市一般会計予算議定に対する附帯決議

平成27年度の五條市における各会計予算案を審査する予算審査特別委員会において、土地借上料の不均衡かつ不平等な予算計上のあることが判明した。

今後においては、地権者の理解を得ながら、これらに対する是正を強く求めるものである。

以上、決議する。

## （仮称）五條総合体育館建設事業において柔哲会から提出された請願の要旨の対応を求める決議（概要）

柔哲会は、柔道を通して小学生から中学生へと成長し、有能な指導者の下、県下でも強豪と知られ、全国・近畿・県大会規模でも数々の実績と歴史を刻みつづける「五條東中学校柔道部」を経て高校、大学、社会人、指導者へと成長した多くの子供たちとその保護者、また指導者が互いに感謝し合うという強い絆の下、柔道に感謝し、その発展を目的として発足した団体であります。

純粋に柔道発展のため、柔哲会は体育館建設事業の早期の着工を願い、2,528名の署名を集めた請願書が提出されました。竣工後は県内外から多くの競技者を募り、競技大会を開催し、他の競技とともに新体育館を意義ある施設として活用するためにはその環境を整える必要があると考えます。また、有事の際、避難所として健やかな避難生活を送る環境整備にもなると考え、市におかれては、以下の項目について環境の整備を求めます。

記

- 1 全国・近畿・県大会の競技を開催するにあたり、正規の競技会場としての環境を整えるため、柔道競技用畳を約600枚装備すること。
- 2 隣接若しくは、則した場所に柔道競技用畳約600枚を収納できる施設を構築すること。

以上、決議する。

## 議長交際費をお知らせします

議長交際費は、議長が五條市議会を代表して、議会運営上、特に必要と認める場合に予算の範囲内で支出する経費です。

支出にあたっては、社会通念上妥当と認められる範囲で、必要最小限になるよう努めています。

平成26年度の下半期（10月～3月）の支出状況は、次のとおりです。

☆折衝接遇経費	0件	0円
☆儀礼的経費	4件	25,000円
☆賛助的経費	9件	48,000円
☆その他経費	6件	65,294円
合計	19件	138,294円

## 「核兵器のない世界に向けた法的枠組み」

### 構築への取組を求める意見書（概要）

唯一の被爆国として、一日も早い「核兵器のない世界に向けた法的枠組み」の構築に向け積極的貢献を果たすよう①核兵器国も参加する核兵器不拡散条約（NPT）で、核兵器のない世界に向けた法的枠組みの検討に着手に合意できるよう、本年開催されるNPT再検討会議の議論を積極的にリードする②原爆投下70年の本年、我が国で開催される広島での国連軍縮会議、長崎でのバグウォッシュ会議世界大会から、核兵器のない世界に向けた法的枠組み実現へのメッセージを世界に発信できるよう、政府関係者、専門家、科学者とともに市民社会の代表や世界の青年による参加の促進を図るなど、両会議を政府として積極的に支援する③NPT広島宣言を受け、主要国の首脳が被爆の実相に触れる第一歩として、日本で開催される2016年主要国首脳会合（サミット）の首脳会合、外相会合やその他の行事を広島、長崎で行うことを検討する④核兵器禁止条約を始めとする法的枠組みの基本理念となる核兵器の非人道性や人間の安全保障並びに地球規模の安全保障を積極的に発信し、核兵器のない世界に向けた法的枠組みに関する国際的な合意形成を促進する⑤日米間のあらゆる場で、日米安全保障の在り方を検討し、核兵器のない世界に向けた新たな安全保障の在り方を世界に発信し、国際的議論を促進することの意見書を採択し、内閣総理大臣・外務大臣に提出しました。

## 新金剛トンネルの実現を求める意見書（概要）

五條市を始め、奈良県南和地域は、木材を中心とする産業の衰退など、南和地域の発展と過疎化の解消が重要な課題となっている。

そこで、県道富田林五條線から金剛山を通り抜け、大阪府南部とを結ぶ新金剛トンネルが実現すれば、南和地域における主要幹線道路へのアクセスが一段と向上し、企業誘致の促進や雇用の安定、世界遺産や自然を活用した観光事業の振興などにより南和地域の発展と過疎化の解消に大きな役割を果たすものと考え、過疎地域が活力あるまちづくりを推進していくため、奈良県南和地域と大阪府南部を結ぶ新金剛トンネルの実現を強く求める意見書を採択し、内閣総理大臣・国土交通大臣に提出しました。